

## ディーラーマニュアル

ロード	MTB	トレッキング
シティツーリング／コンフォートバイク	アーバンスポーツ	E-BIKE

# サイクルコンピューター ・スイッチユニット関連 部品

### Non Series

SC-EM800  
SC-E8000  
SC-E7000  
SC-E6100  
SC-E5000  
SC-E5003  
EW-EN100  
SW-EM800-L  
SW-E8000-L  
SW-E7000  
SW-E6010  
SW-E6000

---




<b>目次</b>	
<b>重要なお知らせ</b> .....	<b>3</b>
<b>安全のために</b> .....	<b>4</b>
<b>分冊構成</b> .....	<b>7</b>
<b>使用工具一覧</b> .....	<b>9</b>
<b>取付け/取外し</b> .....	<b>10</b>
エレクトリックワイヤーについて .....	10
サイクルコンピューター/ジャンクション (A) の取付け .....	16
スイッチユニットの取付け .....	24
コックピット周辺の配線 (クランプバンドタイプサイクルコンピューター) ..	30
コックピット周辺の配線 (スイッチユニット一体タイプサイクルコンピューター) .....	34
コックピット周辺の配線 (ブラケット取付けタイプサイクルコンピューター) .....	36
コックピット周辺の配線 (ジャンクション (A) ) .....	40
<b>端末との接続通信</b> .....	<b>43</b>
はじめに .....	43
SHIMANO STEPS コンポーネント全体への接続 .....	43
コンポーネント単品接続 .....	46
ドライブユニット設定バックアップ機能について .....	47
メンテナンスアラート .....	47
<b>メンテナンス</b> .....	<b>48</b>
クランプバンドの交換 .....	48
電動変速ユニットの変速調整 [Adjust] .....	48
ジャンクション (A) 使用時の変速調整 .....	54
時刻設定について .....	57
<b>トラブルシューティング</b> .....	<b>58</b>

# 重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全てのマニュアル、技術資料はウェブサイト <https://si.shimano.com> でご覧いただけます。
- インターネットのご利用が難しいお客様から、印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。シマノ代理店またはシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社シマノはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。


安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	<b>危 険</b>	「死亡や重傷を負う内容」です。
	<b>警 告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	<b>注 意</b>	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

# 安全のために

## ⚠ 警 告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書の指示に従う。  
その際、シマノ純正部品を使用してください。製品や交換部品が不適切に組立て、調整されていると、製品の不具合を招き、転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、適正な目の保護具を着用する。
- 本書に記載のない製品については、各製品の取扱説明書を参照する。

### 以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 走行中はサイクルコンピューターの表示に目をうばわれない。さもないと転倒事故などのおそれがあります。
- 走行前に前照灯およびテールライトが点灯することを確認する。
- 製品は分解しない。分解すると、人体に危害を加えるおそれがあります。
- サイクルコンピューターは、炎天下の密閉された車内やストーブの近くなど過度の高温環境下にさらさない。バッテリーを内蔵している場合、内蔵バッテリーが破裂したり、可燃性の液体もしくは気体の流出を引き起こしたりする可能性があります。
- サイクルコンピューターは、過度の低圧下にさらさない。バッテリーを内蔵している場合、内蔵バッテリーが破裂したり、可燃性の液体もしくは気体の流出を引き起こしたりする可能性があります。航空機による輸送には問題ありません。

#### ■ 自転車への組付け、整備に関する事項

- 自転車への配線作業、組付け作業は、必ずバッテリーおよび充電ケーブルを外した状態でおこなう。感電するおそれがあります。

#### ■ 廃棄について

- バッテリーを内蔵しているサイクルコンピューターは、地域のルールに従って廃棄する。焼却および圧搾、切断などがおこなわれると内蔵バッテリーが爆発する可能性があります。

## **⚠ 注 意**

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 自転車の取扱説明書に従って、安全に走行する。
- 製品は、安全責任を持つ人による監督や、製品の使用指導のもとで使用する。子供を含めて身体的、感覚的、精神的な能力が減少している人、または経験や知識のない人には使用させないでください。
- 製品のそばで子供を遊ばせない。
- 故障または異常が発生した場合は、購入された販売店に相談する。
- システムの改造は絶対におこなわない。システムに異常をきたすおそれがあります。

## 使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 使用していないE-TUBEポートには必ずダミープラグを取付けてください。
- 製品の取付け、調整は販売店にご相談ください。
- 製品は雨天走行に耐える防水設計になっています。ただし、水中にはつけないでください。
- 高圧洗車はおこなわないでください。水分の浸入により、故障または錆の原因となります。
- 製品は丁寧に扱い強い衝撃を与えないでください。
- 自転車を倒立させないでください。サイクルコンピューターまたはスイッチユニットが破損するおそれがあります。
- バッテリーを外した状態でも自転車として機能しますが、電気アシストシステムにライトが接続されている場合は点灯しません。この場合、ドイツにおける道路交通法を満たしませんのでご注意ください。
- このディーラーマニュアルに記載されている重要な情報の一部は機器ラベルにも記載されています。
- 取扱い方法およびメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。
- 製品のソフトウェアのアップデートは販売店にご相談ください。最新情報はシマノのホームページで公開されます。詳しくは「SHIMANO STEPS コンポーネント全体への接続」の項目を参照してください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。
- 最大限の性能を得るために、シマノ製の潤滑剤とメンテナンス製品を強くお勧めします。

### ■ PCとの接続通信

PC接続機器を使用してPCを自転車（システムまたはコンポーネント）に接続すると、個別のコンポーネントやシステム全体のカスタマイズ、ファームウェアのアップデートなどの作業をE-TUBE PROJECTでおこなうことができます。

- PC接続機器：SM-PCE1 / SM-PCE02
- E-TUBE PROJECT：PCアプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

### ■ スマートフォンやタブレットとの接続通信（対応モデルのみ）

自転車（システムまたはコンポーネント）をスマートフォンやタブレットにBluetooth® LEで接続すると、個別のコンポーネントやシステムのカスタマイズ、ファームウェアのアップデートなどの作業をスマートフォン/タブレット用E-TUBE PROJECTでおこなうことができます。

- E-TUBE PROJECT：スマートフォン/タブレット用アプリケーション
- ファームウェア：各コンポーネント内のソフトウェア

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

# 分冊構成

## ■ ユーザーマニュアル

SHIMANO STEPSシリーズのユーザーマニュアルは、下記の分冊構成になっています。

最新のマニュアルは、ウェブサイト( <https://si.shimano.com> )に掲載しています。

分冊名	内容
SHIMANO STEPS ユーザーマニュアル	SHIMANO STEPSシリーズの基本となるマニュアルです。下記の内容を記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SHIMANO STEPSクイックガイド</li> <li>乗車時の基本操作</li> <li>シティ / トレッキング / MTBタイプといったフラットハンドルバーを採用したアシスト自転車の操作</li> <li>全般的なトラブル対処方法</li> </ul>
SHIMANO STEPS ドロップハンドルバーバイク対応ユーザーマニュアル（別冊）	ドロップハンドルバーを採用し、デュアルコントロールレバーで操作するアシスト自転車の操作について記載した別冊です。SHIMANO STEPSユーザーマニュアルとあわせてお読みください。
SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ユーザーマニュアル（別冊）	下記の内容を記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SHIMANO STEPS専用バッテリーの充電方法や取扱い</li> <li>SHIMANO STEPS専用バッテリーの自転車への脱着方法</li> <li>サテライト電源ボタンおよびサテライト充電ポートの使い方</li> <li>充電時、エラー時のバッテリーLED表示の見かたやエラーの対処方法</li> </ul>
SHIMANO STEPSサイクルコンピューターユーザーマニュアル	下記の内容を記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>本体ボタンやスイッチユニットを使った各種設定方法</li> <li>ワイヤレス通信方法</li> <li>各種トラブルやエラー / ワーニング表示と対処方法</li> </ul>
スイッチユニットユーザーマニュアル	アシストスイッチおよびシフトスイッチのユーザーマニュアルです。スイッチユニットの取扱いと操作についてのみまとめています。

## ■ ディーラーマニュアル

SHIMANO STEPSシリーズのディーラーマニュアルは、下記の分冊構成になっています。

最新のマニュアルは、ウェブサイト( <https://si.shimano.com> )に掲載しています。







## 分冊構成

分冊名	内容
SHIMANO STEPS ディーラーマニュアル	SHIMANO STEPSシリーズの基本となるマニュアルです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 全体配線図</li><li>• SHIMANO STEPSコンポーネントをアシスト自転車への取付ける際の全体的な作業の流れ</li><li>• ドライブユニット周りの取付け / 取外しおよびメンテナンス</li><li>• スピードセンサーの取付け / 取外し</li></ul>
SHIMANO STEPS ドロップハンドルバーバイク対応ディーラーマニュアル（別冊）	ドロップハンドルバーを採用し、デュアルコントロールレバーで操作するアシスト自転車に特化して下記を掲載しています。SHIMANO STEPS ディーラーマニュアルとあわせてお読みください。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 全体配線図</li><li>• ドライブユニット取付け作業時に留意すべき内容</li></ul>
SHIMANO STEPS専用バッテリー・関連部品ディーラーマニュアル（別冊）	下記の内容を記載しています。 <ul style="list-style-type: none"><li>• バッテリーマウントの取付け方法</li><li>• サテライト電源ボタン、サテライト充電ポートの取付け方法</li></ul>
SHIMANO STEPSサイクルコンピューター・スイッチユニット関連部品ディーラーマニュアル（本書）	下記の内容を記載しています。 <ul style="list-style-type: none"><li>• SHIMANO STEPS専用サイクルコンピューター、専用ジャンクション（A）、およびスイッチユニットの取付けやメンテナンス</li><li>• PC版E-TUBE PROJECTとの接続方法</li></ul>
SHIMANO STEPSチェーンデバイス ディーラーマニュアル	SHIMANO STEPS専用チェーンデバイスの取付けやメンテナンスについて記載しています。



# 使用工具一覧

製品の取付け/取外し、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

工具	
	TL-EW02
	TL-EW300
	プラスドライバー[#2]
	2 mm六角レンチ
	2.5 mm六角レンチ
	3 mm六角レンチ

# 取付け/取外し

## エレクトリックワイヤーについて

エレクトリックワイヤーにはEW-SD300とEW-SD50の2種類があります。モデルにより、対応するエレクトリックワイヤーは異なります。あらかじめシマノ製品サイト（<https://productinfo.shimano.com/>）にてコンポーネントの仕様をご確認ください。

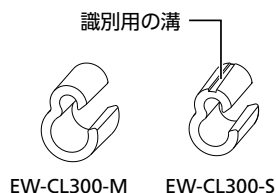
### 対応製品について

各エレクトリックワイヤーの配線には、下記製品が対応しています。

製品名	用途	EW-SD300タイプ	EW-SD50タイプ
シマノ専用工具	エレクトリックワイヤーの接続 / 取外し	TL-EW300	TL-EW02
ダミープラグ	空きポートをふさぐ	Y7HE30000	Y6VE15000
コードクリップ	配線をアウターケーシング / ブレーキホースと結束する	EW-CL300-S （変速アウターケーシング用） EW-CL300-M （ブレーキアウターケーシング、ブレーキホース用）	Y70H98040
コードカバー	エレクトリックワイヤーの支持 / 保護（外装配線）	EW-CC300	SM-EWC2
グロメット	内蔵配線対応フレームの配線挿入口に取付ける	EW-GM300-S EW-GM300-M	SM-GM01 SM-GM02
コードバンド	エレクトリックワイヤーの支持（フラットハンドルバー外装配線）	EW-CB300-S EW-CB300-M EW-CB300-L	SM-EWE1
ジャンクション（A） （Di2用）	コックピット周りで配線を集合させる。シフトモード変更などの機能を持つ。	—	EW-RS910 SM-EW90-A SM-EW90-B
ジャンクション（B）	フレーム内外で配線を集合させる	EW-JC304 EW-JC302	SM-JC41 SM-JC40 EW-JC200 EW-JC130
変換アダプター	「変換アダプター」参照	EW-AD305	EW-AD305

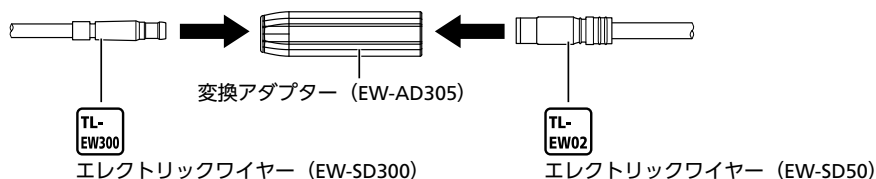
### 使用上の注意

- EW-SD300とEW-SD50では、取付け / 取外しに使用するシマノ専用工具や、配線に使用するアクセサリが異なります。必ず対応製品をご使用ください。
- EW-CL300-Sには、EW-CL300-Mと区別できるように、識別用の溝があります。



## 変換アダプター

EW-SD300用のE-TUBEポートを備えたコンポーネントにEW-SD50を接続する場合、変換アダプター（EW-AD305）が必要です。



## エレクトリックワイヤーの取付け / 取外し

エレクトリックワイヤーを抜き差しする際は、必ずシマノ専用工具を使用してください。

### 使用上の注意

- エレクトリックワイヤーを接続 / 取外しする際に、プラグ部を無理に曲げないでください。接触不良の原因になることがあります。

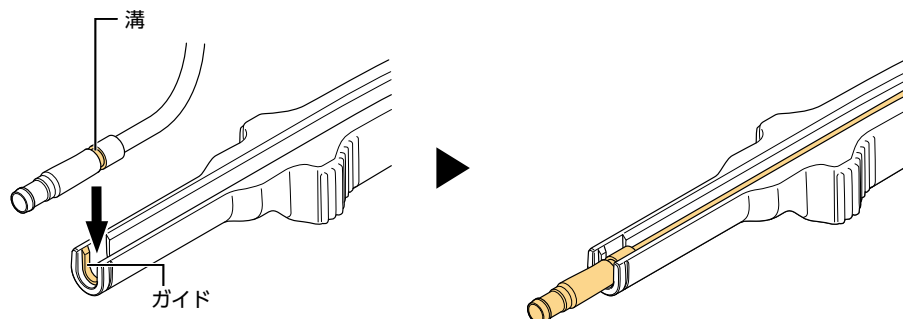
## エレクトリックワイヤーの接続（EW-SD300）

E-TUBEポートにエレクトリックワイヤーを接続します。

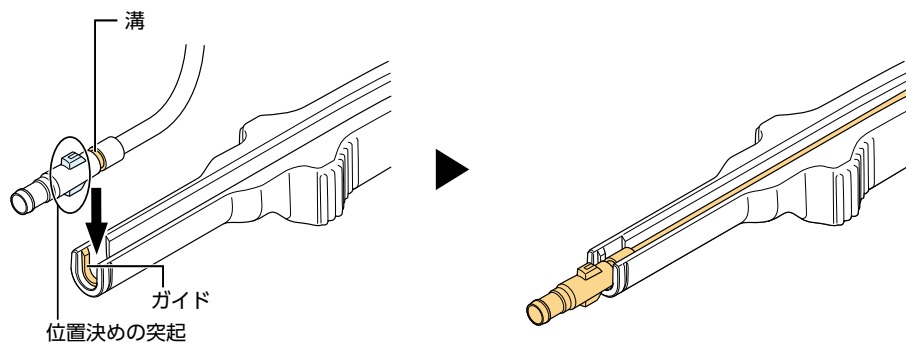
### 1. TL-EW300に、エレクトリックワイヤーのプラグをセットします。

エレクトリックワイヤーのプラグに位置決めの突起がある場合は、接続しようとしているE-TUBEポートの形状を確認し、位置決めの突起の向きを合わせてセットします。

プラグに位置決めの突起がない場合

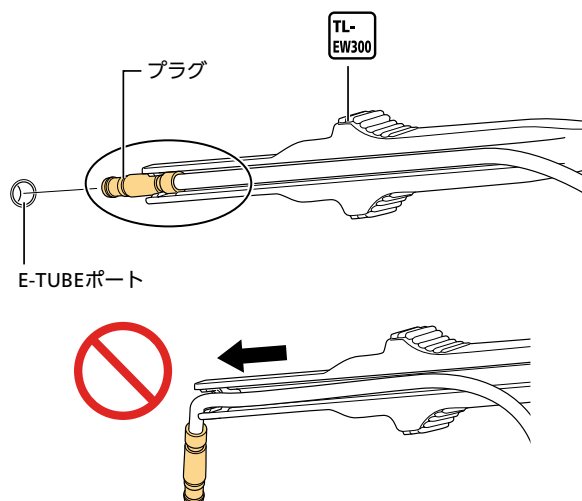


プラグに位置決めの突起がある場合



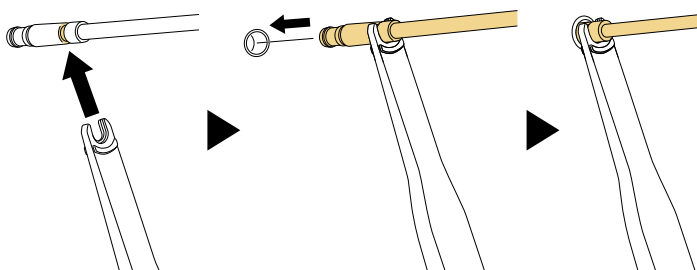
2. エレクトリックワイヤーのプラグを、E-TUBEポートに挿入します。

クリック感があるまで、真っ直ぐ押し込みます。



## TECH TIPS

- EW-SD300の接続は下記の方法でも可能です。

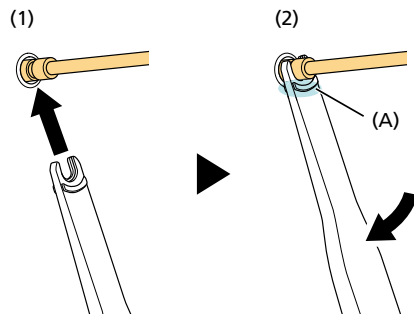


## エレクトリックワイヤーの取外し (EW-SD300)

### 1. エレクトリックワイヤーを取外します。

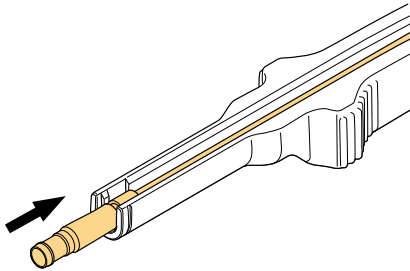
- (1) TL-EW300をエレクトリックワイヤーのプラグ部の溝に差込みます。
- (2) エレクトリックワイヤーをE-TUBEポートから取外します。

\* 図のようにTL-EW300を(A)部を支点にしてテコのように動かし、プラグ部を取外します。



### TECH TIPS

- 工具の入るスペースが限られているときは、TL-EW300を図のように使ってエレクトリックワイヤーを取外すことができます。



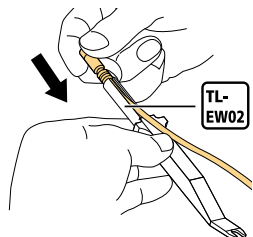
## エレクトリックワイヤーの接続 (EW-SD50)

E-TUBEポートにエレクトリックワイヤーを接続します。

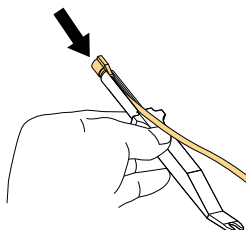
1. TL-EW02に、エレクトリックワイヤーのプラグをセットします。

エレクトリックワイヤーのプラグに位置決めの突起がある場合は、シマノ専用工具の溝に合わせてセットします。

プラグに位置決めの突起がない場合

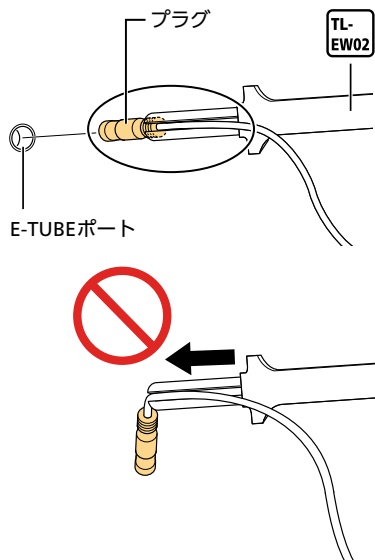


プラグに位置決めの突起がある場合



## 2. エレクトリックワイヤーのプラグを、E-TUBEポートに挿入します。

クリック感があるまで、真っ直ぐ押し込みます。



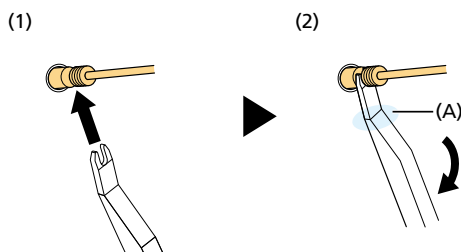
## エレクトリックワイヤーの取外し (EW-SD50)

### 1. エレクトリックワイヤーを取外します。

(1) TL-EW02をエレクトリックワイヤーのプラグの溝に差込みます。

(2) エレクトリックワイヤーをE-TUBEポートから取外します。

\* 図のようにTL-EW02を(A)部を支点にしてテコのように動かし、プラグ部を取外します。工具の入るスペースが限られているときは、TL-EW02を真っ直ぐ持ち上げてエレクトリックワイヤーを取外してください。



## サイクルコンピューター/ジャンクション (A) の取付け

クランプバンドタイプ / スイッチユニット一体タイプ サイクルコンピューター

対象モデル：SC-EM800, SC-E8000, SC-E7000, SC-E5000, SC-E5003

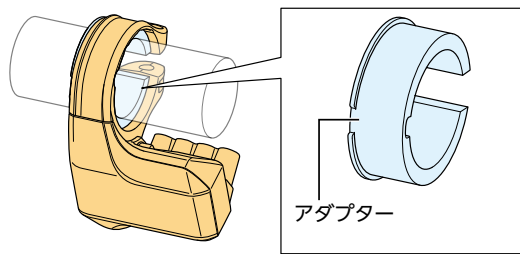


対応するハンドルバーの径は下記のとおりです。

- クランプバンドタイプ:  $\varnothing 35.0$ ,  $\varnothing 31.8$
- スイッチユニット一体タイプ:  $\varnothing 22.2$

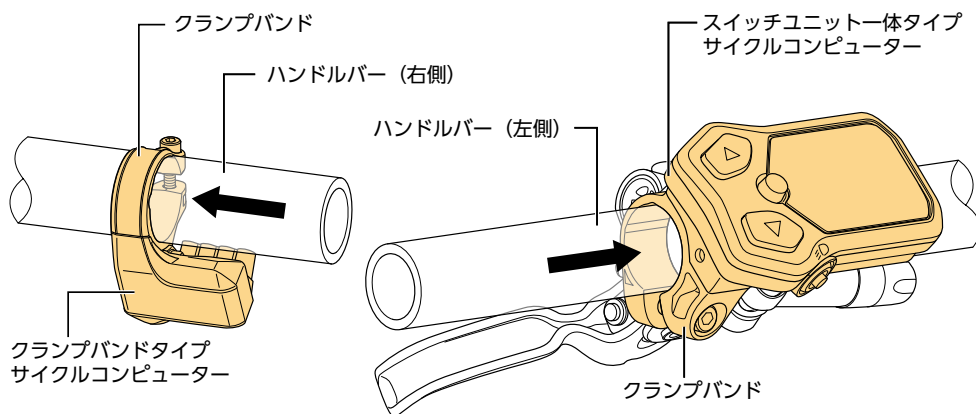
## TECH TIPS

- クランプバンドタイプサイクルコンピューターは、モデルによってはアダプターを使い $\varnothing 25.4$ のハンドルバーに取付けることができます。



### 1. サイクルコンピューターのクランプバンドをハンドルバーに通します。

- クランプバンドタイプサイクルコンピューターは、ハンドルバー右側から挿入し、ステムの右側付近に取付けます。
- スイッチユニット一体タイプサイクルコンピューターは、ハンドルバー左側から挿入し、スイッチ部分が操作しやすいようにハンドルグリップの近くに取付けます。



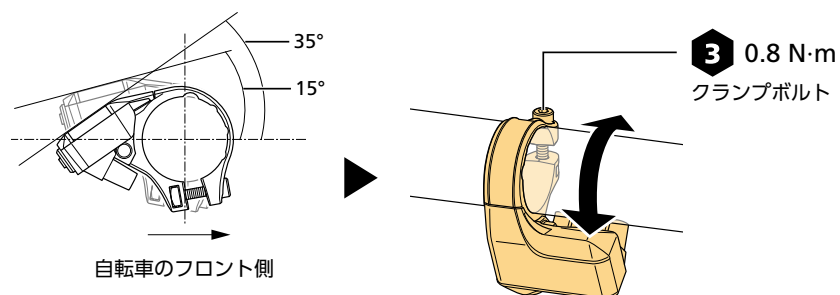
## 取付け/取外し

### サイクルコンピューター/ジャンクション (A) の取付け

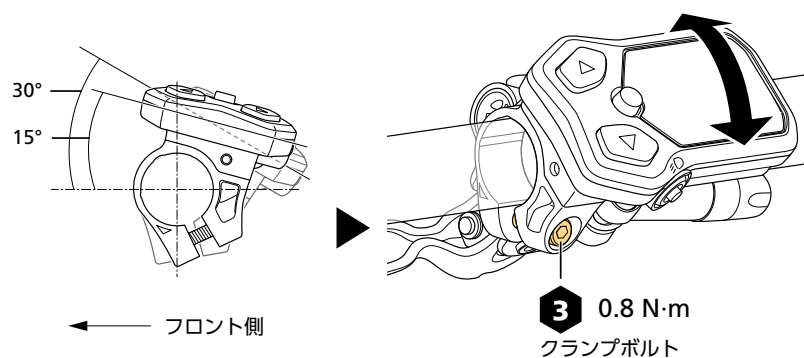
---

#### 2. 取付け角度を調整し、サイクルコンピューターをハンドルバーに固定します。

##### クランプバンドタイプサイクルコンピューター



##### スイッチユニット一体タイプサイクルコンピューター



### ブラケット取付けタイプサイクルコンピューター

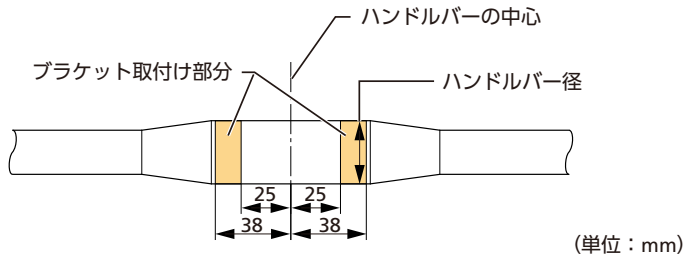
対象モデル：SC-E6100

取付け/取外し  
サイクルコンピューター/ジャンクション（A）の取付け

サイクルコンピューターをハンドルに固定するためのブラケットと、サイクルコンピューター本体が別体式です。

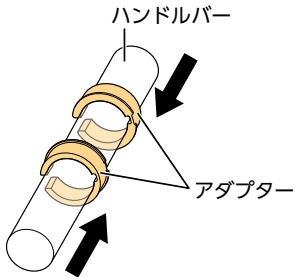
ブラケットとサイクルコンピューターの取付け

1. ハンドルバーの直径からアダプターの要不要を確認します。  
サイクルコンピューターを支持するブラケットは、次の図の位置に取付けます。



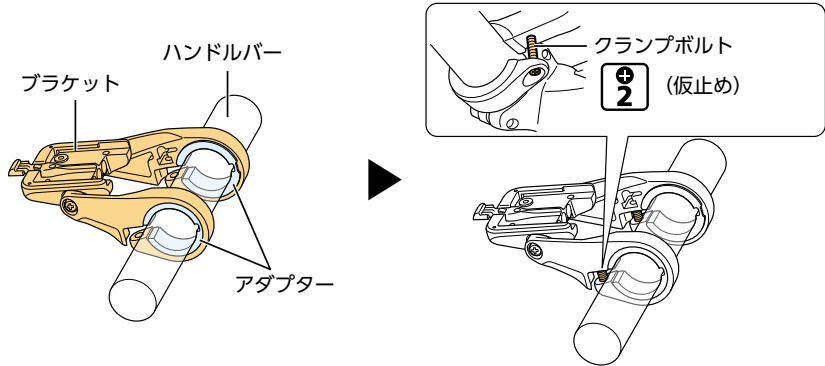
ステム取付け部のハンドルバー径 (mm)	アダプター
Ø25.2 - 25.6	要
Ø31.6 - 32.0	不要

2. アダプターが必要な場合、ハンドルバーの中央に通します。



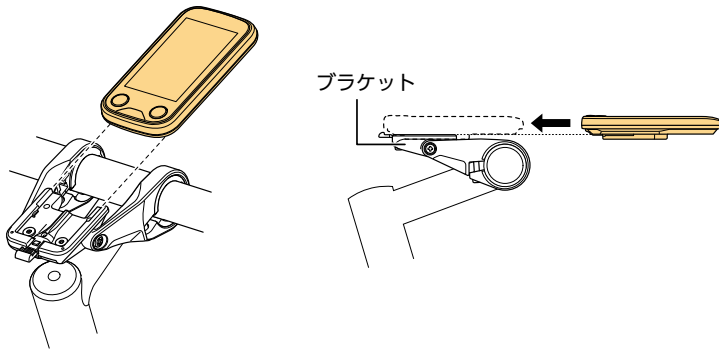
3. ブラケットを仮止めします。

- (1) クランプ部を押し広げ、ブラケットをハンドルバーの中央に取付けます。  
(2) 手順 1 で選択した長さのクランプボルトを仮止めします。



#### 4. サイクルコンピューターをブラケットに取付けます。

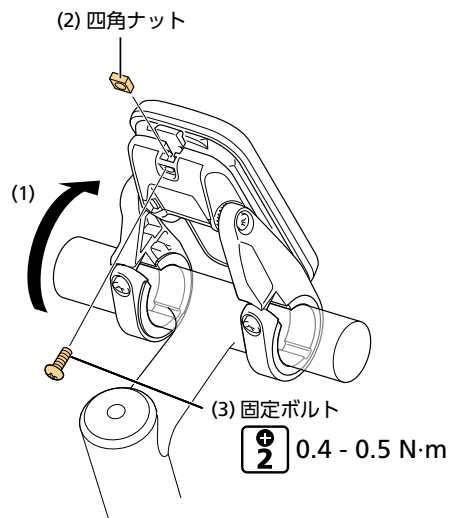
サイクルコンピューターをブラケットにスライドさせて取付けます。  
パチッと音がするまで確実に差込んでください。



#### 5. 必要に応じてサイクルコンピューターをブラケットに固定します。

サイクルコンピューターをブラケットに固定しない場合は、この手順は不要です。

- (1) サイクルコンピューターを裏返すように、ブラケットとともにステムの上におこします。
- (2) 四角ナットをブラケットに挿入します。
- (3) 固定ボルトを締付けます。

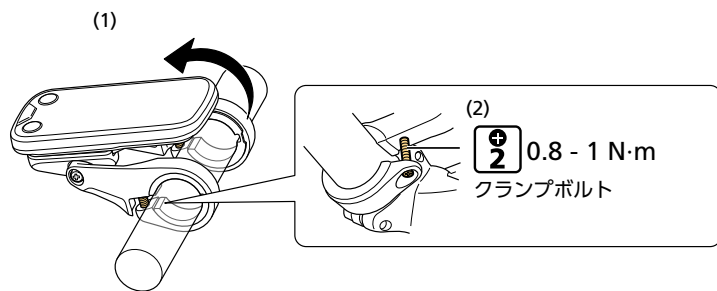


### TECH TIPS

- この手順で、サイクルコンピューターは容易に取外せないようにブラケットに固定されます。売場での展示などにご利用ください。
- お客様には、納品時にサイクルコンピューターを固定するかどうかを確認し、必要に応じて上記の固定方法をご説明ください。

**6. ブラケットをハンドルバーに固定します。**

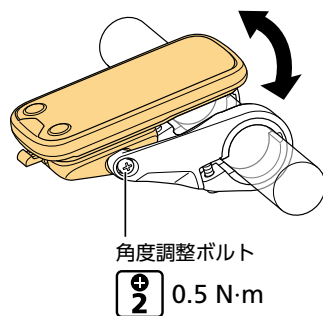
- (1) 手順 5 でステムの上におこしている場合、サイクルコンピューターを取付け位置まで戻します。
- (2) ブラケットを固定します。



**取付け角度の調整**

**1. サイクルコンピューターの取付け角度を調整します。**

- (1) 角度調整ボルトを緩めます。
- (2) サイクルコンピューターを乗車位置から見えやすい角度に調整したら、角度調整ボルトを締付けます。

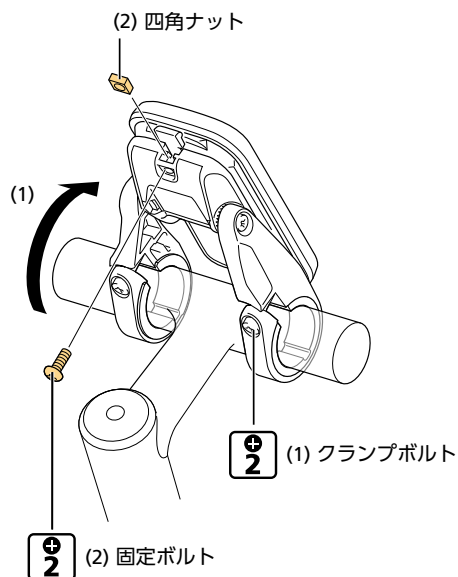


## サイクルコンピューターの取外し

### 1. ブラケット下側の固定ボルトを取外します。

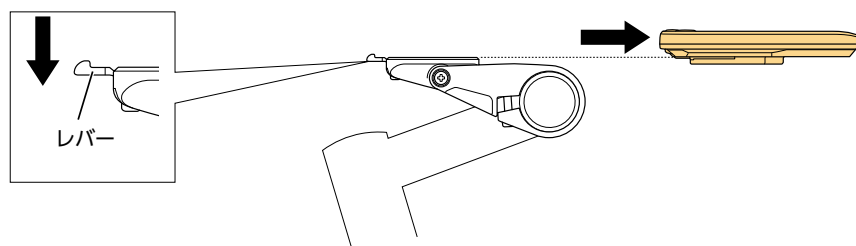
サイクルコンピューターを固定していない場合、この手順は不要です。手順2にすすんでください。

- (1) クランプボルトを緩め、サイクルコンピューターを裏返すように、ブラケットとともにステムの上におこします。
- (2) 固定ボルトと四角ナットを取外します。



### 2. サイクルコンピューターをブラケットから取外します。

ブラケットのレバーを下に押しながらサイクルコンピューターを前にスライドさせて取外します。



## ジャンクション（A）

対象モデル：EW-EN100

SHIMANO STEPSで使えるジャンクション（A）は、サイクルコンピューターの代わりに機能し、簡易な操作および表示機能を持ちます。

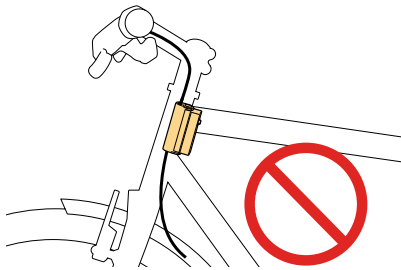
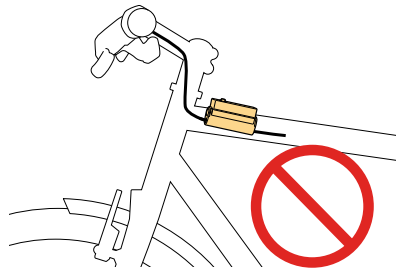
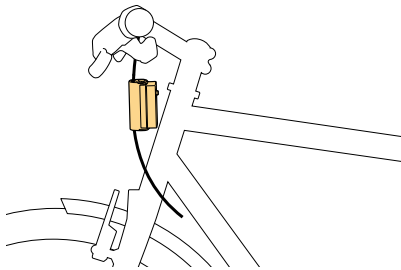
ジャンクション（A）は、コックピット周辺でLEDが乗車位置から視認できる位置に取付けます。

## TECH TIPS

- EW-EN100を取外す場合、以降の手順を逆順でおこなってください。

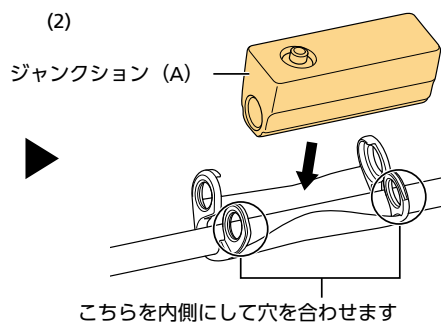
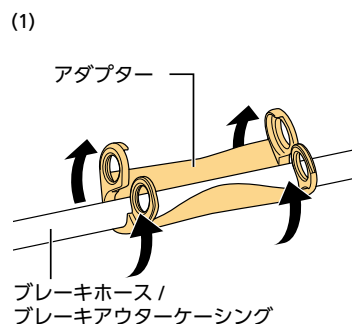
### 使用上の注意

- 図のように、ジャンクション (A) がフレームの側面に来ないように配置してください。転倒時、車体と縁石などのあいだにはさまれ、破損する原因になります。

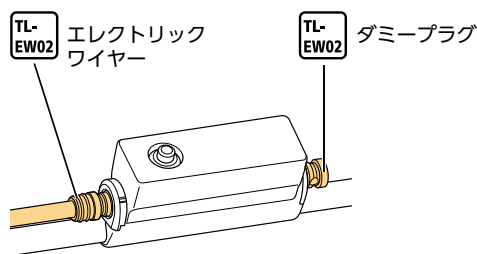


#### 1. ジャンクション (A) の取付け位置を決め、アダプターをセットします。

- (1) アダプターを広げて、ブレーキホース / ブレーキアウターケーシングにセットします。
- (2) アダプターをブレーキホース / ブレーキアウターケーシングに沿わせて折り曲げます。



## 2. エレクトリックワイヤーまたはダミープラグを接続します。



### 使用上の注意

- E-TUBEポートには、必ずエレクトリックワイヤーまたはダミープラグを接続してください。これによりジャンクション（A）はブレーキホース / ブレーキアウターケーシングに固定されます。

## スイッチユニットの取付け

ハンドルバーに、アシストスイッチおよびシフトスイッチ（電動変速の場合）を取付けます。

### TECH TIPS

- スwitchユニットを取外す場合、以降の手順を逆順でおこなってください。

## MTBタイプスイッチユニット

対象モデル：SW-E8000-L

- MTBタイプスイッチユニットは、 $\varnothing 22.2 \sim \varnothing 22.5$ のハンドルバーに取付けることができます。

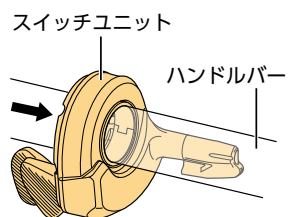
### 1. ハンドルバーの配線方法を確認します。

ハンドルバーにスイッチユニットへのエレクトリックワイヤーを内蔵する場合は、事前に配線しておきます。



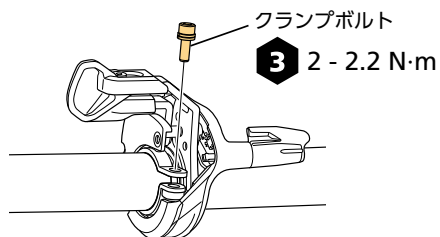
## 2. ハンドルバーにスイッチユニットを通します。

エレクトリックワイヤーをハンドルバー内に通す場合は、スイッチユニットがハンドルバーの上をスライドできるように、エレクトリックワイヤーがハンドルバーの溝に押し込まれていることを確認してください。



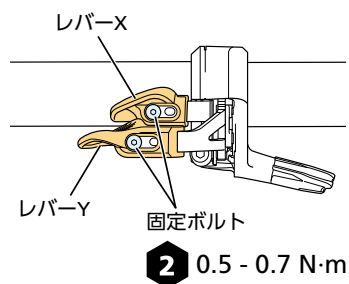
## 3. スwitchユニットを固定します。

- (1) スwitchユニットの取付け位置と角度を調整します。
- (2) クランプボルトを締付けます。



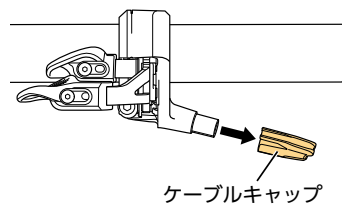
4. レバーXおよびレバーYの位置を調整します。

- (1) 固定ボルトを緩めます。
- (2) レバーXおよびレバーYを、お好みの位置に調整します。
- (3) 固定ボルトを締付けます。



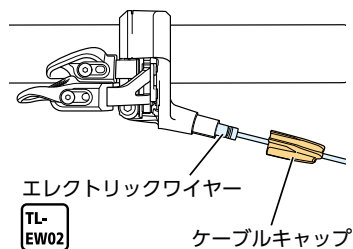
エレクトリックワイヤーの接続

1. ケーブルキャップを取外します。



## 2. エレクトリックワイヤーをスイッチユニットに接続します。

- (1) エレクトリックワイヤーにケーブルキャップを通します。
- (2) エレクトリックワイヤーをスイッチユニットに接続します。



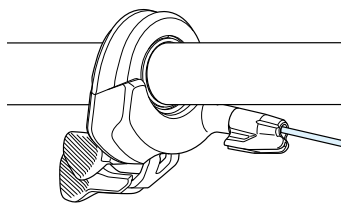
### 使用上の注意

- ケーブルキャップを通さないでエレクトリックワイヤーをスイッチユニットに接続すると、エレクトリックワイヤーのプラグ部が破損するおそれがあります。
- ケーブルキャップがブレーキレバーに干渉しないようにご注意ください。ケーブルキャップがブレーキレバーに押し当てられると、エレクトリックワイヤーのプラグ部が破損するおそれがあります。

### 3. ケーブルキャップを取付けます。

エレクトリックワイヤーをステム方向に取回す場合

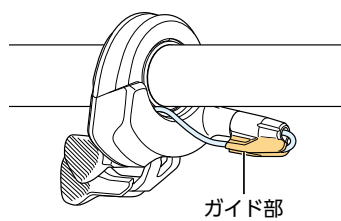
図のように取付けます。



エレクトリックワイヤーをハンドル先端方向に取回して内蔵する場合

下記のようにエレクトリックワイヤーを取回します。

- (1) ケーブルキャップの取付け後、エレクトリックワイヤーをケーブルキャップのガイド部に沿わせます。
- (2) エレクトリックワイヤーの反対側を引いて、余分な長さのワイヤーをハンドルバーに引き込みます。



## 2スイッチ/3スイッチタイプスイッチユニット

対象モデル：SW-EM800-L, SW-E7000, SW-E6010, SW-E6000

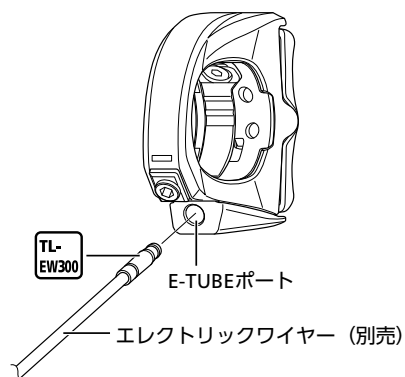
2スイッチ/3スイッチタイプスイッチユニットは、 $\phi 22.2$ のハンドルバーに取付けることができます。ここでは、スイッチユニットからの配線をハンドルバーに沿って外装する場合の取付け方法を説明しています。

### TECH TIPS

- スwitchユニットのモデルにより、エレクトリックワイヤーが本体に固定されている場合と、取外し可能で別売されている場合があります。
- スwitchユニットのモデルにより、コードバンドが同梱されている場合と別売の場合があります。

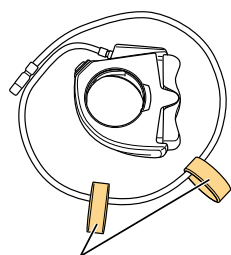
**1. エレクトリックワイヤーを接続します。**

\* エレクトリックワイヤーが固定されていないモデルのみ



**2. エレクトリックワイヤーにコードバンドを通します。**

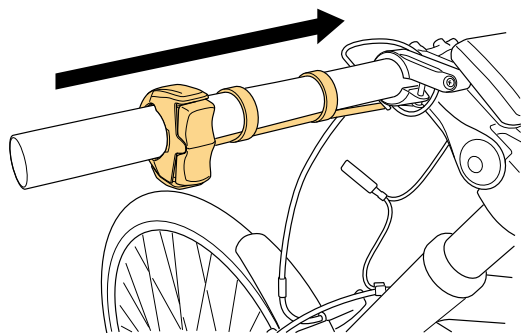
ハンドルバーの長さに応じて、コードバンドの個数を調整してください。



コードバンド  
SM-EWE1 (EW-SD50タイプ)  
EW-CB300 (EW-SD300タイプ)

**3. コードバンドとスイッチユニットをハンドルバーの端から通します。**

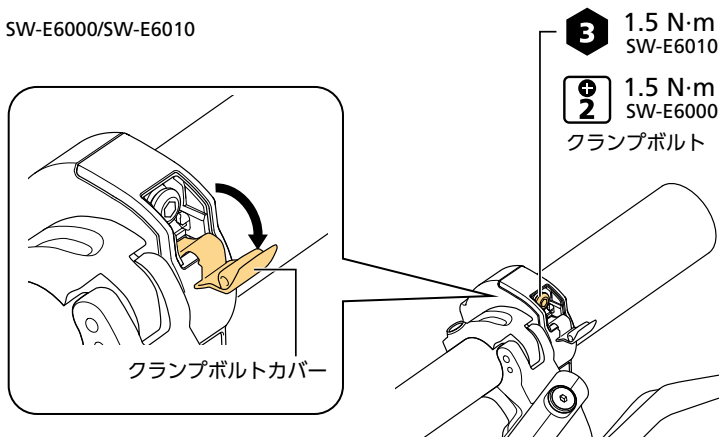
スイッチユニットのエレクトリックワイヤーが下向きになるようにしてください。



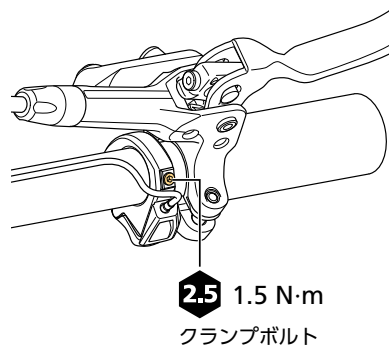
4. クランプボルトの場所を確認し、スイッチユニットをハンドルバーに固定します。

- クランプボルトの場所はモデルにより異なります。
- モデルによっては、クランプボルトにカバーが付いています。

SW-E6000/SW-E6010



SW-EM800-L



SW-E7000



## コックピット周辺の配線（クランプバンドタイプサイクルコンピューター）

対象モデル：SC-EM800, SC-E8000, SC-E7000

ここでは例としてスイッチユニット2個を接続する場合で説明しています。

### 使用上の注意

- 使用しないE-TUBEポートには、必ずダミープラグを取付けてください。

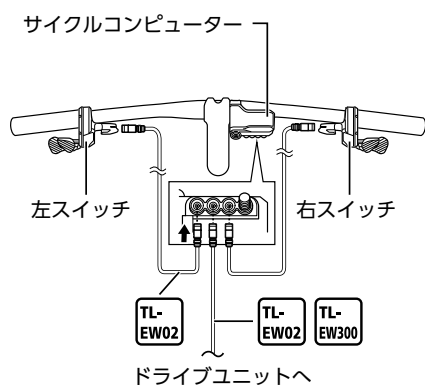
## TECH TIPS

- サイクルコンピューターのモデルによっては、スイッチユニットなしの構成も可能です。

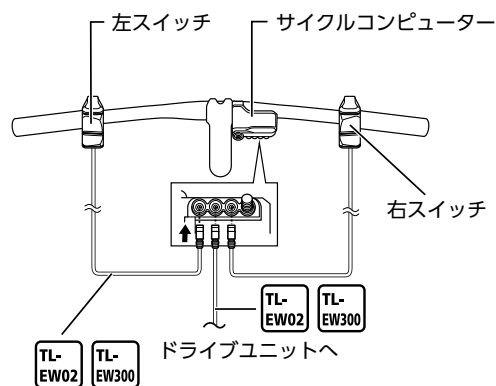
### 1. コックピット周辺の配線をおこないます。

- サイクルコンピューターとスイッチユニット間をエレクトリックワイヤーで接続します。
- サイクルコンピューターのどのE-TUBEポートにスイッチユニットおよびドライブユニットを接続するかに制限はありません。ただし、図のように接続することを推奨します。

MTBタイプスイッチユニット



2スイッチ/3スイッチタイプスイッチユニット



### 2. ドライブユニットへの配線を準備します。

「SHIMANO STEPS ディーラーマニュアル」を参照してください。

## エレクトリックワイヤーの取回し例

コードバンドおよびコードクリップを使い、コックピット周りの配線を整理します。

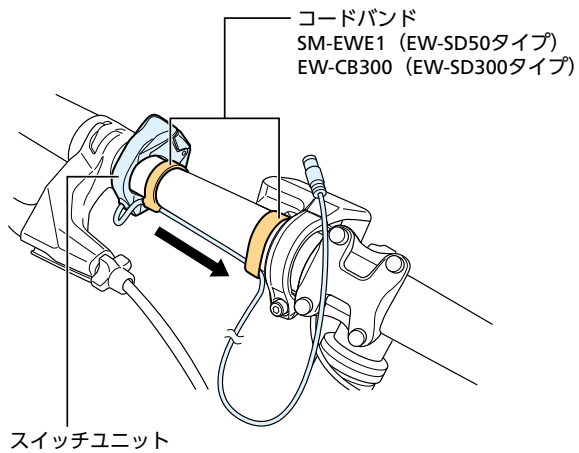
## TECH TIPS

- コードクリップは、サイクルコンピューターに同梱されている場合と、別売場合があります。

### コードバンドを使用する場合

#### 1. スイッチユニットのエレクトリックワイヤーを固定します。

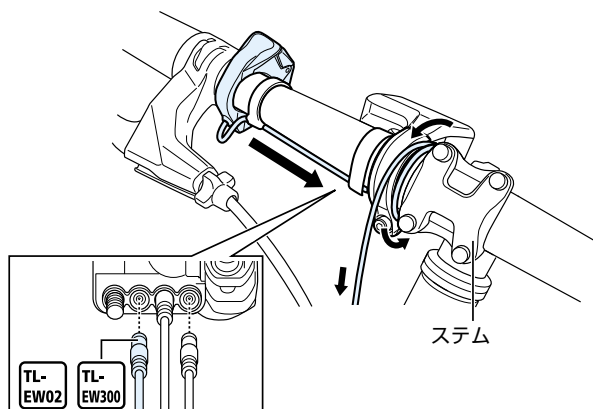
コードバンドの位置を決めて、エレクトリックワイヤーがたるまないようにハンドルバーに沿って固定します。





**2. E-TUBEポートにエレクトリックワイヤーを接続します。**

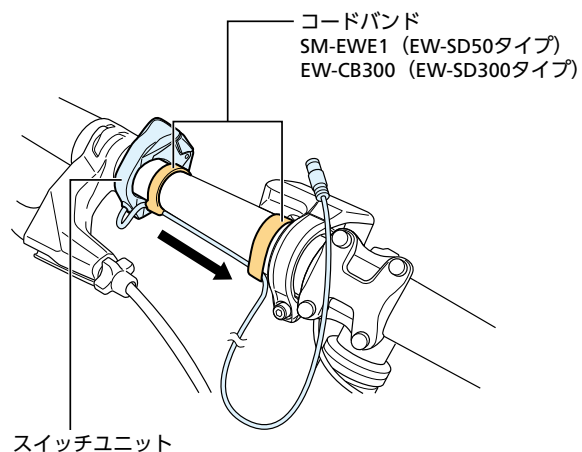
長さが余る分は、接続する前にサイクルコンピューターとステムのあいだでハンドルに巻付けておきます。



**コードバンドとコードクリップを使用する場合**

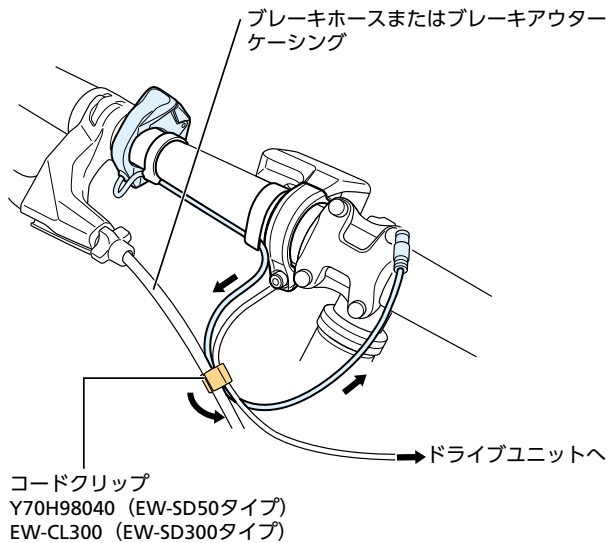
**1. スイッチユニットのエレクトリックワイヤーを固定します。**

コードバンドの位置を決めて、エレクトリックワイヤーがたるまないようにハンドルバーに沿って固定します。



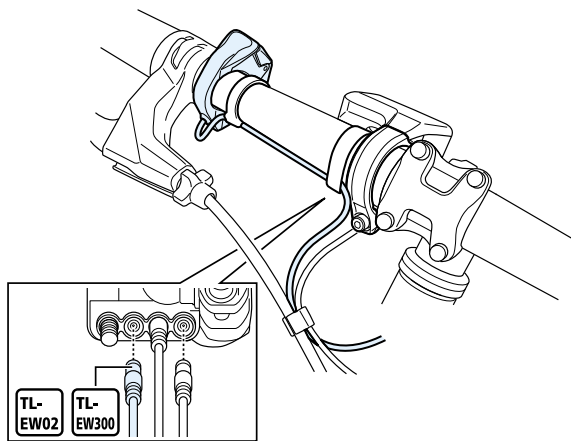
2. コードクリップで、ブレーキホースまたはブレーキアウターケーシングとエレクトリックワイヤーを結束します。  
ブレーキホースまたはブレーキアウターケーシングと下記エレクトリックワイヤーをコードクリップで結束します。

- スwitchユニットのエレクトリックワイヤー
- サイクルコンピューターとドライブユニットを接続するエレクトリックワイヤー



3. サイクルコンピューターのE-TUBEポートにエレクトリックワイヤーを接続します。

長さが余る分は、接続する前にサイクルコンピューターとステムのあいだでハンドルに巻付けておきます。



## コックピット周辺の配線（スイッチユニット一体タイプサイクルコンピューター）

対象モデル：SC-E5000, SC-E5003

ここでは例としてスイッチユニットを接続する場合で説明しています。

## 使用上の注意

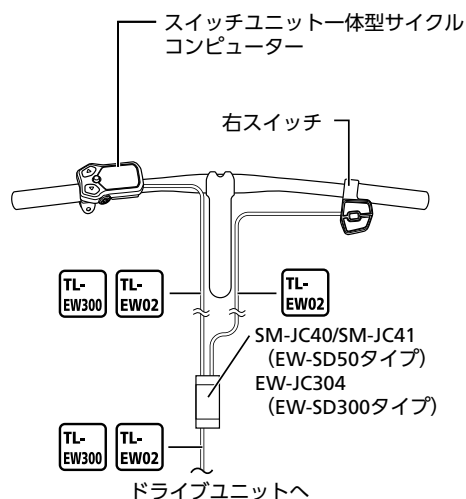
- 使用しないE-TUBEポートには、必ずダミープラグを取付けてください。

## TECH TIPS

- サイクルコンピューターのモデルによっては、スイッチユニットなしの構成も可能です。

### 1. コックピット周辺の配線をおこないます。

- サイクルコンピューターとスイッチユニット間をエレクトリックワイヤーで接続します。



### 2. ドライブユニットへの配線を準備します。

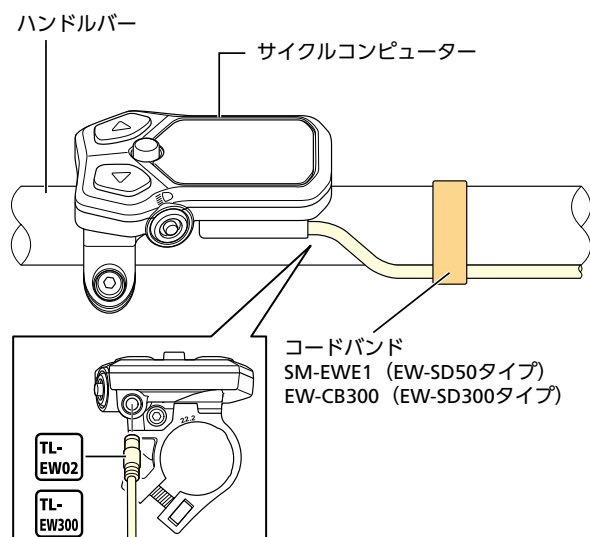
「SHIMANO STEPS デイラーマニュアル」を参照してください。

## エレクトリックワイヤーの取回し例

コードバンドを使うと、サイクルコンピューターに接続したエレクトリックワイヤーを、ハンドルバーに沿って固定できます。ハンドルバー右側にスイッチユニットを接続する場合も同様です。

## 取付け/取外し

### コックピット周辺の配線（ブラケット取付けタイプサイクルコンピューター）



## コックピット周辺の配線（ブラケット取付けタイプサイクルコンピューター）

対象モデル：SC-E6100

ここでは例としてスイッチユニット2個を接続する場合で説明しています。

### 使用上の注意

- 使用しないE-TUBEポートには、必ずダミープラグを取付けてください。

### TECH TIPS

- サイクルコンピューターのモデルによってはスイッチユニットなしの構成も可能です。

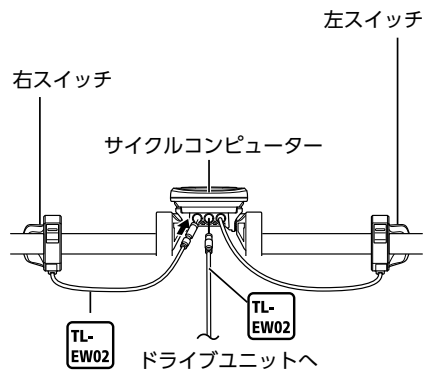
## 取付け/取外し

### コックピット周辺の配線（ブラケット取付けタイプサイクルコンピューター）

---

#### 1. コックピット周辺の配線をおこないます。

- サイクルコンピューターとスイッチユニット間をエレクトリックワイヤーで接続します。
- サイクルコンピューターのどのE-TUBEポートにスイッチユニットおよびドライブユニットを接続するかに制限はありません。ただし、図のように左右を各スイッチユニット、中央をサイクルコンピューターに接続することを推奨します。



#### 2. ドライブユニットへの配線を準備します。

「SHIMANO STEPS ディーラーマニュアル」を参照してください。

## エレクトリックワイヤーの取回し例

コードバンドおよびコードクリップを使い、コックピット周りの配線を整理します。

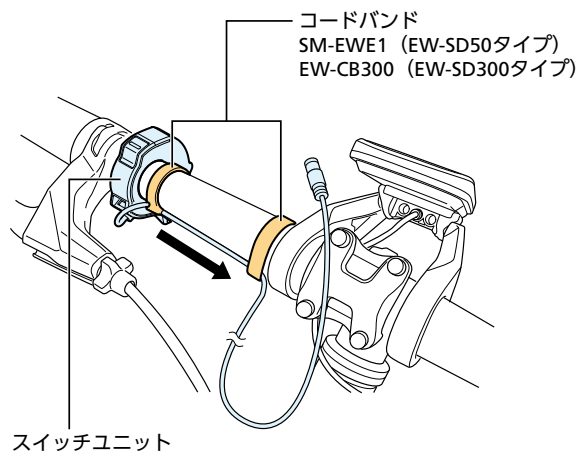
## TECH TIPS

- コードクリップは、サイクルコンピューターに同梱されている場合と、別売場合があります。

### コードバンドを使用する場合

#### 1. スイッチユニットのエレクトリックワイヤーを固定します。

コードバンドの位置を決めて、エレクトリックワイヤーがたるまないようにハンドルバーに沿って固定します。



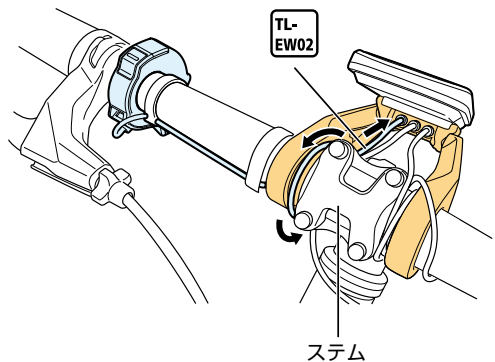
## 取付け/取外し

### コックピット周辺の配線（ブラケット取付けタイプサイクルコンピューター）

---

#### 2. ブラケットのE-TUBEポートにエレクトリックワイヤーを接続します。

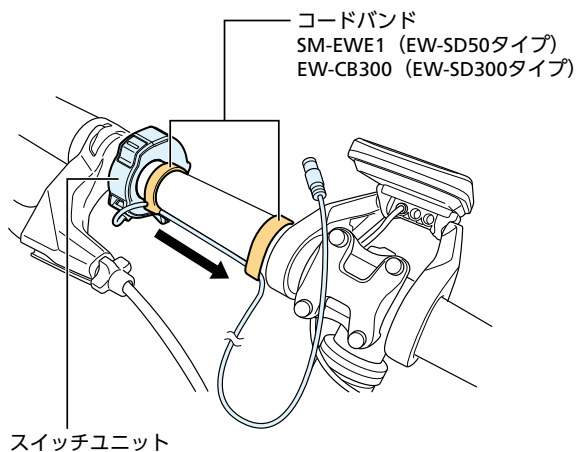
長さが余る分は、接続する前にサイクルコンピューターとステムのあいだでハンドルに巻付けておきます。



### コードバンドとコードクリップを使用する場合

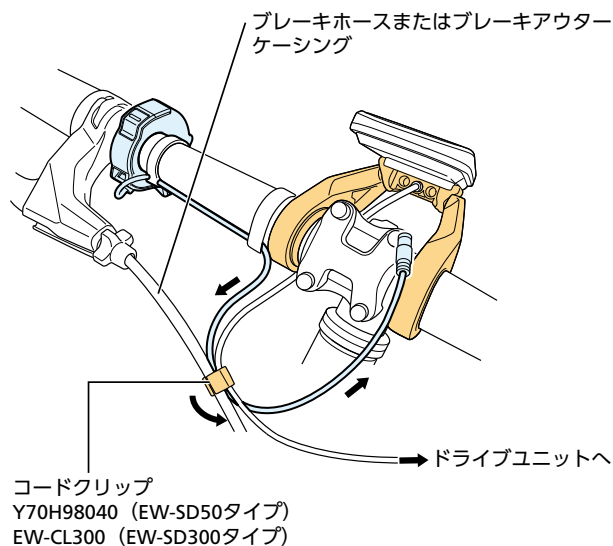
#### 1. スイッチユニットのエレクトリックワイヤーを固定します。

コードバンドの位置を決めて、エレクトリックワイヤーがたるまないようにハンドルバーに沿って固定します。



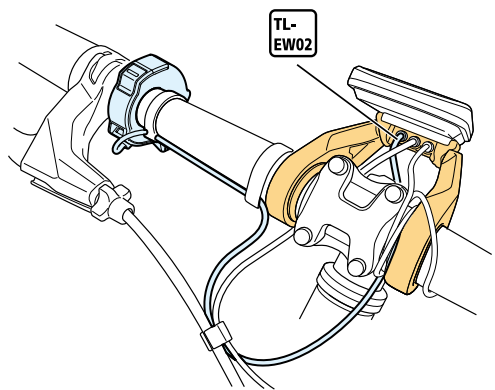
2. コードクリップで、ブレーキホースまたはブレーキアウターケーシングとエレクトリックワイヤーを結束します。  
ブレーキホースまたはブレーキアウターケーシングと下記エレクトリックワイヤーをコードクリップで結束します。

- スイッチユニットのエレクトリックワイヤー
- サイクルコンピューターとドライブユニットを接続するエレクトリックワイヤー



3. ブラケットのE-TUBEポートにエレクトリックワイヤーを接続します。

長さが余る分は、接続する前にサイクルコンピューターとステムのあいだでハンドルに巻付けておきます。



## コックピット周辺の配線（ジャンクション（A））

対象モデル：EW-EN100

ここでは例としてジャンクション（A）にスイッチユニットを接続する場合を説明しています。



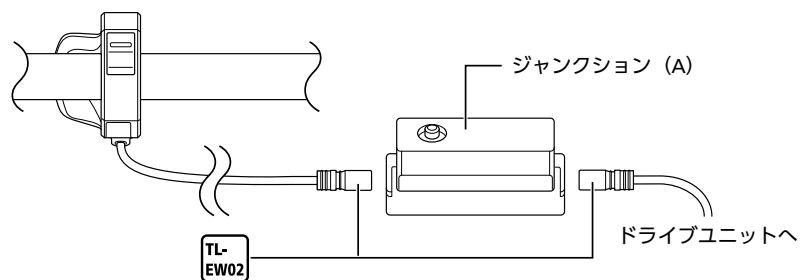
## 取付け/取外し

### コックピット周辺の配線（ジャンクション（A））

---

#### 1. コックピット周辺の配線をおこないます。

スイッチユニットを接続する場合は、ジャンクション（A）とスイッチユニット間をエレクトリックワイヤーで接続します。



#### 2. ドライブユニットへの配線を準備します。

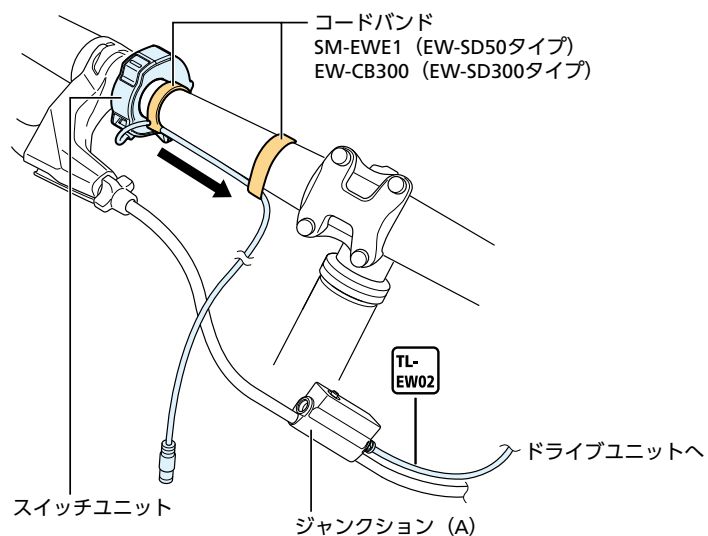
「SHIMANO STEPS ディーラーマニュアル」を参照してください。

## エレクトリックワイヤーの取回し例

コードバンドおよびコードクリップを使い、コックピット周りの配線を整理します。

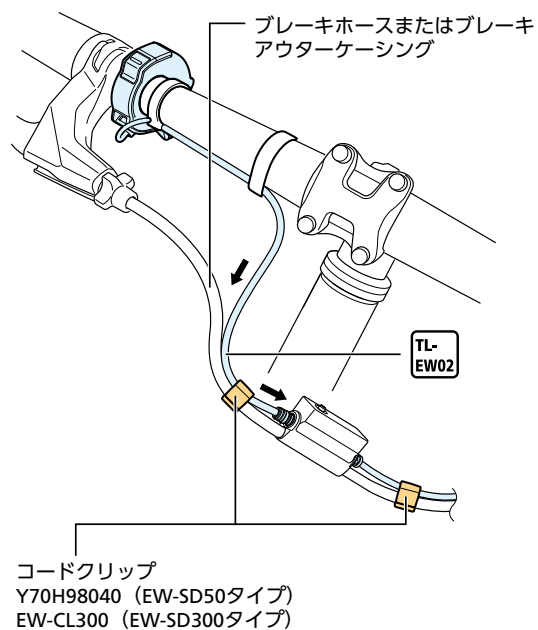
#### 1. スwitchユニットのエレクトリックワイヤーを固定します。

コードバンドの位置を決めて、エレクトリックワイヤーがたるまないようにハンドルバーに沿って固定します。



**2. ジャンクション（A）のE-TUBEポートにエレクトリックワイヤーを接続します。**

必要に応じてコードクリップを使用して、スイッチユニットとEW-EN100を接続したエレクトリックワイヤーをブレーキホースまたはブレーキアウターケーシングに固定します。



# 端末との接続通信

## はじめに

自転車を端末に接続することで、システムの設定やファームウェアのアップデートなどをおこなうことができます。

SHIMANO STEPSの設定やファームウェアアップデートをおこなうには、E-TUBE PROJECTが必要です。

サポートサイト（<https://bike.shimano.com/e-tube/project.html>）にアクセスし、E-TUBE PROJECTをダウンロードしてください。

E-TUBE PROJECTのインストール方法はサポートサイトをご確認ください。

本書ではPC版E-TUBE PROJECTとの接続について説明します。モデルにより、無線接続も可能です。ユーザーマニュアルを参照してください。

### TECH TIPS

- サイクルコンピューターまたは、SHIMANO STEPSコンポーネント全体とE-TUBE PROJECTの接続が成立すると、サイクルコンピューターの画面上にSHIMANO STEPSロゴまたはE-TUBEと表示されます。
- SHIMANO STEPSをPCと接続するには、PC接続機器が必要です。また、以下の場合にはジャンクション（B）が必要になります。
  - － 電動変速を採用している場合など、サイクルコンピューターのE-TUBEポートに空きがない場合
  - － スイッチユニット単体をPCに接続する場合
- EW-SD300対応機器をPC接続機器に接続する場合、変換アダプター（EW-AD305）を使用して配線をEW-SD50に変換してください。
- ファームウェアは予告なく変更される場合があります。
- バッテリー充電中はPCとの接続通信はできません。充電中は機器に接続しないでください。

## SHIMANO STEPS コンポーネント全体への接続

アシスト自転車に搭載されたSHIMANO STEPSコンポーネントの全てに接続するときは、サイクルコンピューターまたはジャンクション（A）をPCと接続します。

### クランプバンドタイプサイクルコンピューター

図を参考に接続してください。



Diagram illustrating the connection of the SM-JC40/SM-JC41 (EW-SD50 type) or EW-JC304 (EW-SD300 type) to a PC and a switch unit.

The diagram shows the following components and connections:

- A laptop connected to the SM-PCE1/SM-PCE02 unit via a USB cable.
- The SM-PCE1/SM-PCE02 unit connected to the SM-JC40/SM-JC41 (EW-SD50 type) or EW-JC304 (EW-SD300 type) via a cable.
- The SM-JC40/SM-JC41 (EW-SD50 type) or EW-JC304 (EW-SD300 type) connected to the switch unit via a cable.
- The switch unit connected to the drive unit via a cable.

Labels in the diagram:

- SM-PCE1
- SM-PCE02
- スイッチユニットに接続 (Connect to switch unit)
- ドライブユニットに接続 (Connect to drive unit)

Model names and types:

- SM-JC40/SM-JC41 (EW-SD50タイプ)
- EW-JC304 (EW-SD300タイプ)

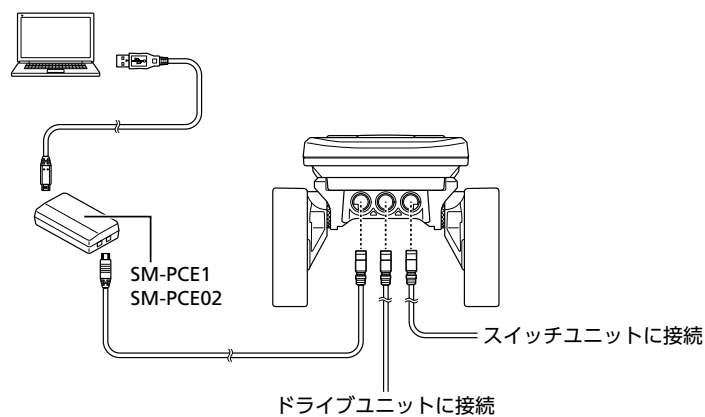
## ブラケット取付けタイプサイクルコンピューター

44

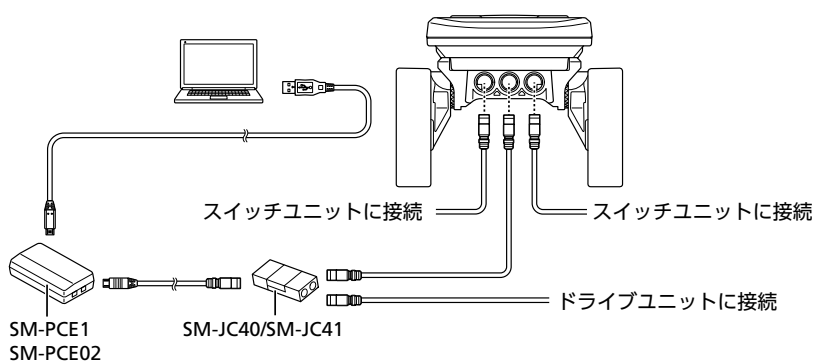
## 端末との接続通信

### SHIMANO STEPS コンポーネント全体への接続

空きポートがある場合

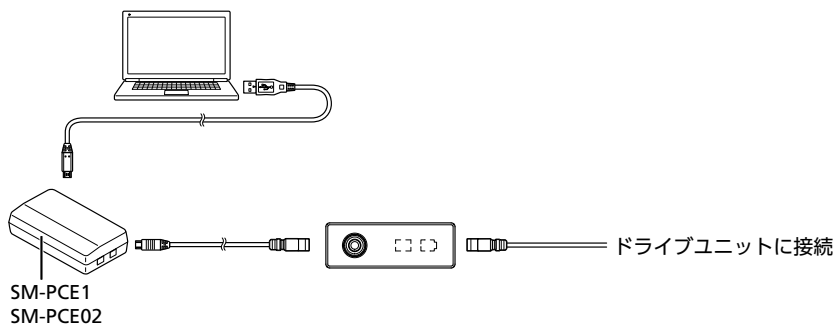


空きポートがない場合



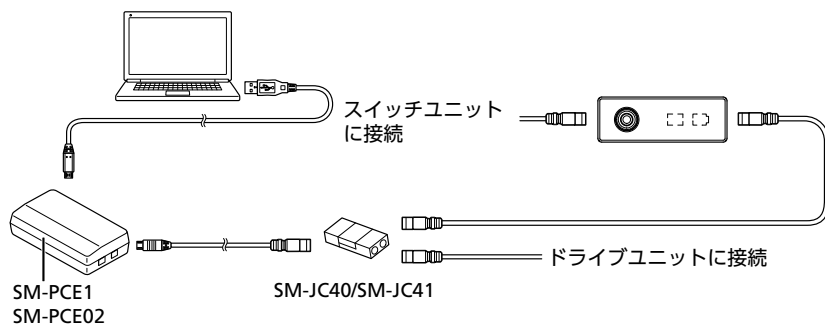
## ジャンクション (A)

空きポートがある場合



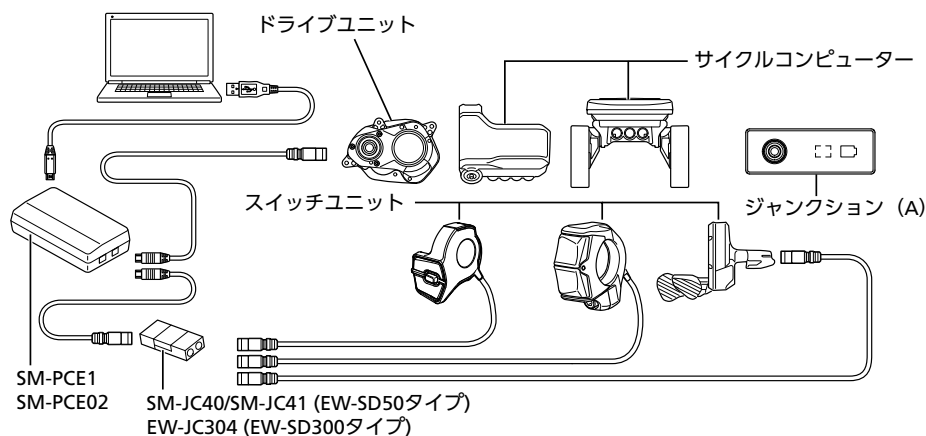
## 端末との接続通信 コンポーネント単品接続

空きポートがない場合



## コンポーネント単品接続

各コンポーネントのE-TUBEポートへの配線を取外し、PC接続機器を中継してPCに接続します。



### 使用上の注意

- ・ スwitchユニットを単品でPCに接続する場合は、ジャンクション (B) が必要です。
- ・ EW-SD300対応機器をPC接続機器に接続する場合、変換アダプター (EW-AD305) を使用して配線をEW-SD50に変換してください。

## TECH TIPS

- ドライブユニットのE-TUBEポートについては、SHIMANO STEPS ディーラーマニュアルを参照してください。

# ドライブユニット設定バックアップ機能について

サイクルコンピューターにバックアップされたドライブユニットの設定内容を確認する場合は、E-TUBE PROJECTの[ユニットログ取得]メニューからPDF形式のレポートを書き出すことができます。ドライブユニット交換の際は、購入された代理店に、ドライブユニットとともにレポートを送付してください。

## メンテナンスアラート

ユーザーに自転車のメンテナンス時期を通知します。設定した積算距離や日付に達すると、サイクルコンピューターの画面上にアイコンを表示します。この設定をおこなうにはE-TUBE PROJECTへの接続が必要です。詳細はE-TUBE PROJECTのユーザーマニュアルを参照してください。

# メンテナンス

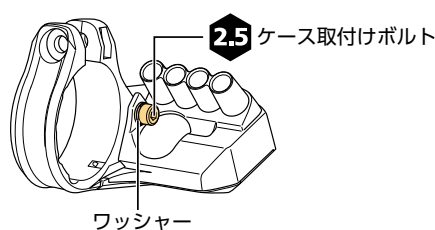
## クランプバンドの交換

対象モデル：SC-EM800, SC-E8000, SC-E7000, SC-E5000, SC-E5003

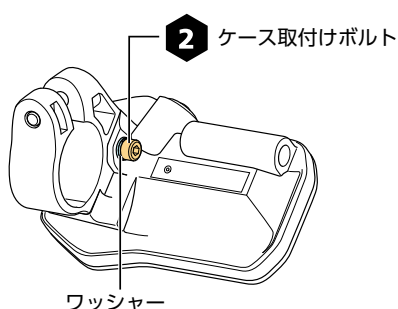
クランプバンドタイプおよびスイッチユニット一体タイプサイクルコンピューターのクランプバンドを交換します。

### 1. ケース取付けボルトを取外します。

クランプバンドタイプ  
サイクルコンピューター



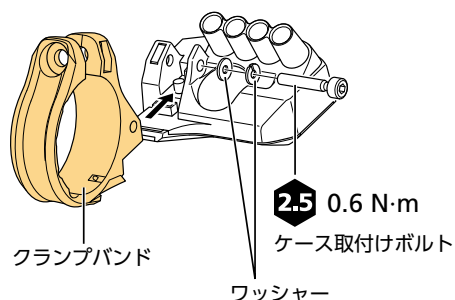
スイッチユニット一体タイプ  
サイクルコンピューター



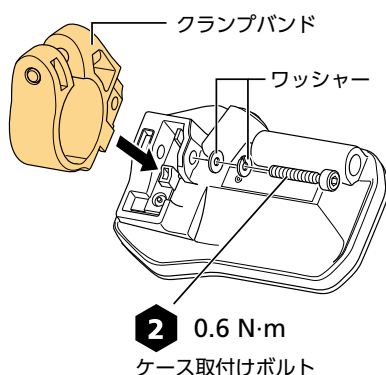
### 2. クランプバンドを交換します。

クランプバンドを取外して、新しいクランプバンドを取付けます。

クランプバンドタイプ  
サイクルコンピューター



スイッチユニット一体タイプ  
サイクルコンピューター



## 電動変速ユニットの変速調整 [Adjust]

サイクルコンピューターから電動変速機の変速調整をおこないます。ここでは、SC-E7000、SC-E6100およびSC-E5000を例に画面を掲載しています。他のサイクルコンピューターでも同様の画面および操作になります。



**⚠ 注 意**

- 変速機のディーラーマニュアルを参照し、要不要を正しく判断した上で調整する。正常な状態で不要な調整作業をおこなうと、変速性能が劣化します。調整が大きくなるとペダリング時に空転し、転倒事故につながる可能性があります。

**使用上の注意**

- あらかじめ自転車を整備スタンドに固定するなどして、リアホイールが自由に回転可能な状態にしてください。

**TECH TIPS**

- 調整範囲はリアディレーラーのとき-16 ~ +16、内装ハブ（モーターユニット）のとき-4 ~ +4と異なります。ここではリアディレーラー仕様の画面で説明しています。

**本書での操作表記方法について**

以降、本書ではサイクルコンピューターの本体ボタンおよびスイッチユニットを使った操作を下記のように表記しています。サイクルコンピューターの本体ボタンやスイッチユニットの各スイッチについては、それぞれのユーザーマニュアルを参照してください。

凡例	操作
<F>	機能ボタンを押す操作を表します。
<↑>	アシストスイッチまたはスイッチユニット一体タイプサイクルコンピューターのスイッチ-Xを押す操作を示します。
<↓>	アシストスイッチまたはスイッチユニット一体タイプサイクルコンピューターのスイッチ-Yを押す操作を示します。
<▲>	シフトスイッチのスイッチ-Xを押す操作を示します。
<▼>	シフトスイッチのスイッチ-Yを押す操作を示します。
[Adjust] (例) 電動変速機の変速調整	本書では、サイクルコンピューターの画面上で表示される項目を [ ] で囲んで表記しています。手順で表記している場合は、画面上の表示を選択し、機能ボタンまたはアシストスイッチのスイッチ-Aを押して画面を切り替えたり、設定を確定したりする操作を表しています。
<A>	アシストスイッチまたはスイッチユニット一体タイプサイクルコンピューターのスイッチ-Aを押す操作を示します。

## TECH TIPS

- 本書の手順説明で<F>と表記している操作は<A>で代用することができます。

## 設定値の確認

最初に、[Adjust]の設定値が[0]かどうかを確認します。

設定メニュー画面の表示方法は、各サイクルコンピューターのユーザーマニュアルを参照してください。

### 1. 設定メニュー ⇒ [Adjust] ⇒ 現在の設定値を確認

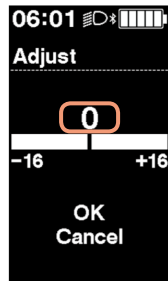
\* スイッチユニット一体タイプの場合：[GEAR]が表示された状態で、[ADJUST]に表示が切替わるまでサイクルコンピューターの<A>を長押し

- 数値が[0]の場合：「設定値が[0]の場合の調整」へすすみます。
- 数値が[0]以外の場合：「設定値が[0]以外の場合の調整」へすすみます。

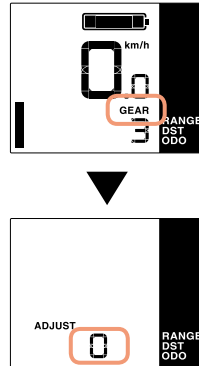
クランプバンドタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E7000)



ブラケット取付けタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E6100)



スイッチユニット一体タイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E5000)



## 設定値が[0]の場合の調整

[0]を基準にして設定値を1段階ずつ調整します。

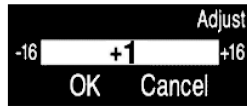
## メンテナンス

### 電動変速ユニットの変速調整 [Adjust]

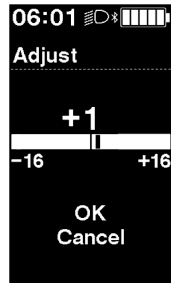
---

#### 1. <▲><▼> (設定値を1段階調整)

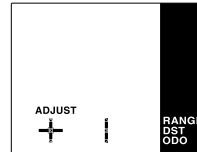
クランプバンドタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E7000)



ブラケット取付けタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E6100)



スイッチユニット一体タイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E5000)

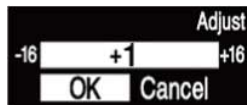


#### 2. <↑><↓> ([OK] を選択) ⇒ <F>

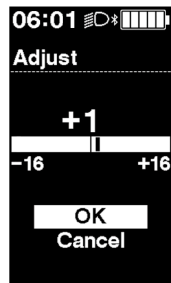
\* スイッチユニット一体タイプの場合：<A>

調整値が確定して、基本画面に戻ります。

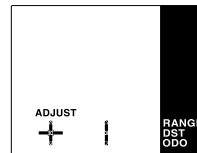
クランプバンドタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E7000)



ブラケット取付けタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E6100)



スイッチユニット一体タイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E5000)



#### 3. 変速操作を試す。

クランクを回しながら <▲><▼> で変速操作をおこない、調整が変更されたことを確認します。

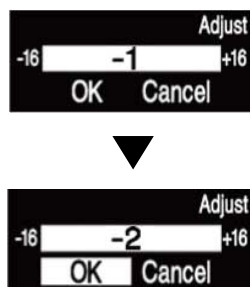
### 4. 症状によって下記のように調整をすすめる。

症状によって調整値を変更し、異音や違和感が無くなるまで下記を繰り返してください。

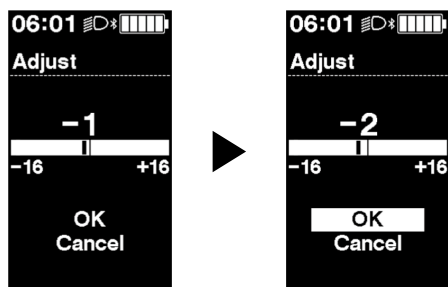
症状が改善された、または明確な変化がない場合

- (1) 直前の調整値の変更とプラスマイナス同じ方向に、さらに調整値を1段階変更する。
- (2) 基本画面に戻り、再度変速操作をして症状を確認する。

クランプバンドタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E7000)



ブラケット取付けタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E6100)



スイッチユニット一体タイプ  
サイクルコンピューターの例 (SC-E5000)



症状が悪化した場合

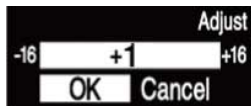
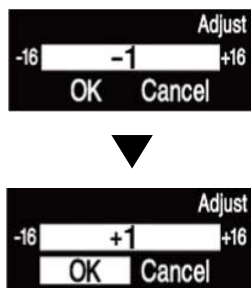
- (1) 直前の調整値の変更とプラスマイナス逆の方向に2段階調整値を変更する。

## メンテナンス

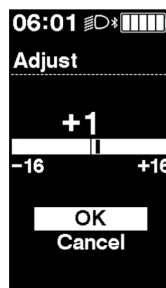
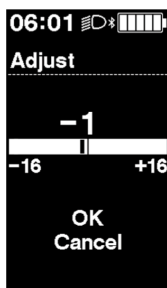
### 電動変速ユニットの変速調整 [Adjust]

- (2) 基本画面に戻り、再度変速操作をして症状を確認する。

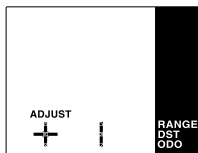
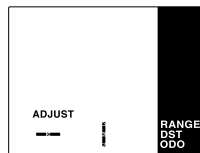
クランプバンドタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E7000)



ブラケット取付けタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E6100)



スイッチユニット一体タイプ  
サイクルコンピューターの例 (SC-E5000)



5. 最後に実走して変速操作を試し、異音や違和感がないことを確認する。

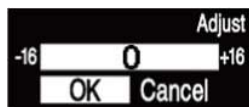
### 設定値が[0]以外の場合の調整

設定値が[0]以外になっている場合は、いったん設定値を[0]に戻してから調整をおこないます。

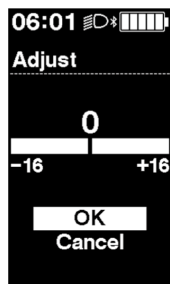
1. <▲><▼> (設定値を [0] に戻す) ⇒ <↑><↓> ([OK] を選択) ⇒ <F>

\* スイッチユニット一体タイプの場合：<▲><▼> (設定値を [0] に戻す) ⇒ <A>

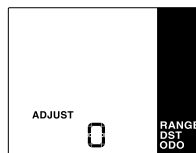
クランプバンドタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E7000)



ブラケット取付けタイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E6100)



スイッチユニット一体タイプ  
サイクルコンピューターの例  
(SC-E5000)



## 2. 変速操作を試す。

クランクを回しながら <▲> <▼> で変速操作をおこない、調整が変更されたことを確認します。「設定値が[0]の場合の調整」の手順 4 を参照し、症状によって調整をおこないます。

## 3. 最後に実走して変速操作を試し、異音や違和感がないことを確認する。

## ジャンクション（A）使用時の変速調整

ジャンクション（A）をアジャスト設定モードに切り替えて、電動変速リアディレラーの変速調整をします。

- 設定にはシフトスイッチとして設定されたスイッチユニットが必要です。
- 内装電動変速の場合には、E-TUBE PROJECTから変速調整が可能です。詳しくは、E-TUBE PROJECTのユーザーマニュアルを参照してください。
- 主電源の操作方法は「SHIMANO STEPSユーザーマニュアル」を参照してください。
- 本書ではジャンクション（A）のボタンおよびスイッチユニットを使った操作を下記のように表記しています。スイッチユニットの各スイッチについては、ユーザーマニュアルを参照してください。

凡例	操作
<B>	ボタンを押す操作を表します。
<▲>	シフトスイッチのスイッチ-Xを押す操作を示します。
<▼>	シフトスイッチのスイッチ-Yを押す操作を示します。

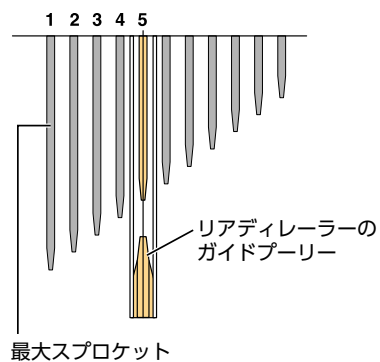
### ⚠ 注 意

- 変速機のディーラーマニュアルを参照し、要不要を正しく判断した上で調整する。正常な状態で不要な調整作業をおこなうと、変速性能が劣化します。調整が大きすぎるとペダリング時に空転し、転倒事故につながる可能性があります。

### 使用上の注意

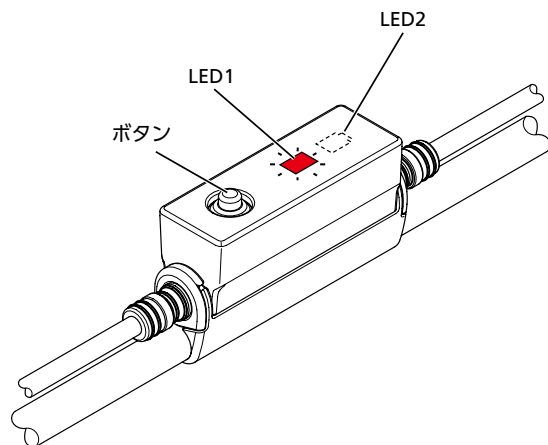
- あらかじめ自転車を整備スタンドに固定するなどして、リアホイールが自由に回転可能な状態にしてください。

1. <▲><▼> (最大スプロケットから5枚目のギア位置に変速)



2. <B> (LED1が赤点灯するまで約5秒長押し)

LED1の点灯を確認してから指を離してください。LED1のみが赤く点灯しているあいだは、システムがアジャスト設定モードになっています。

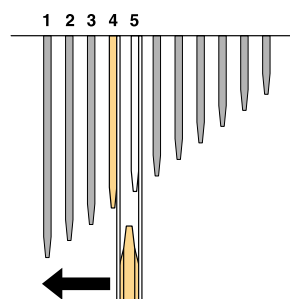


**使用上の注意**

- LED1が赤く点灯した後、さらにボタンを押し続けるとLED1が赤く点滅し、RDプロテクションリセットが作動します。再度ボタンを押して一度通常モードに戻ってから、操作をやり直してください。

## 3. クランクを回しながら、&lt;▼&gt;

上記の操作でガイドプーリーが最大スプロケット側へ移動します。チェーンが4枚目のギアと接触してかすかに音が出る位置まで移動させてください。

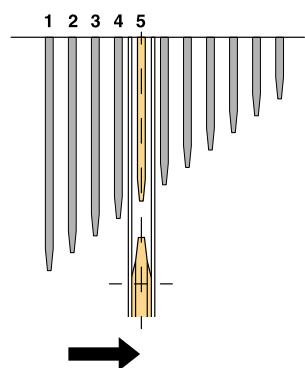


## TECH TIPS

- 初期位置から内側へ16段階、外側へ16段階、合計33段階の調整が可能です。

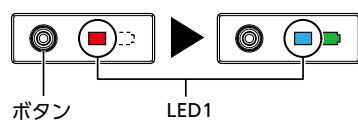
## 4. &lt;▲&gt; (5回押す)

ガイドプーリーが最小スプロケット側へ5段階移動します。この位置が、調整の基準です。



## 5. &lt;B&gt; (1回押す)

調整の変更が確定され、通常モードに戻ります。





**6. 変速操作を試す。**

クランクを回しながら <▲><▼> で変速操作をおこない、調整が変更されたことを確認します。微調整が必要な場合は、最初からやり直してください。

## 時刻設定について

一部のサイクルコンピューターには、現在時刻の表示機能や、時刻の設定機能がありません。ただし、そのようなモデルでも、内蔵時計を持っており、現在時刻をE-TUBE PROJECTから設定できます。詳しくはE-TUBE PROJECTのユーザーマニュアルでご確認ください。

内蔵時計の時刻は、メンテナンスアラートの告知時期の判定や、ユニットログなどに使用されます。SHIMANO STEPS システムの状態を正確に把握するため、メンテナンスとして現在時刻の設定を確認いただくようお願いいたします。

# トラブルシューティング

サイクルコンピューターおよびジャンクション(A)には、エラー表示機能があります。ユーザーマニュアルを参照してください。状況が解消しない場合は代理店にご相談ください。その他のトラブル時の対応方法についても、ユーザーマニュアルに掲載しています。

